

教育支援センターだより 5月号 令和8年度 第2号
 令和8年 5月18日発行(通算194号)

鴻巣市立教育支援センター
 〒369-0133 鴻巣市小谷1890番地1
 TEL 048-569-3181
 FAX 048-569-1773

花かおり
 緑あふれ
 人輝くまち
 こうのす

○ 教育相談事業
 ○ 適応指導教室事業
 ○ 特別支援教育事業
 ○ 研修事業

若手教員への期待

教育指導員 小暮 祐一



江戸時代の人情話を、一つ紹介します。
 ある長屋に、飲んだくれて仕事をしない大工が住んでいた。腕はいいのだが、短気でけんかつ早くて長屋のきらわれ者。大家が見かねてその大工に提案した。
 「一日の酒代をやるから、長屋を一軒一軒回って壊れているところを修理してくれないか。修理してもお金は決してもらってはいけない。」
 「そんなことは簡単だ。」と、さっそく翌日から長屋を修理して回った。お金を取らないので長屋の連中は気の毒がってお酒やおかずを持ってくるようになった。みんなに喜ばれるもんだから仕事が楽しくなった。その評判は隣町まで伝わりたくさんの仕事の依頼がくるようになった。弟子も増え、いつしか棟梁といわれるまでになった。(西日本新聞の記事より)

21世紀の現代と比べ時代背景や社会状況が大きく違いますが、子どもたちの教育に携わる若い先生方の参考にしてほしいと思い取り上げてみました。

さて、きらわれ者の大工が大きく変容した要因はどこにあったのでしょうか。自分なりにあげてみると、

- 大工の人となりをよくわかっている大家さんの一言でその気になったこと
 - 大工としての技量を身に付けていたこと
 - まわりの人々と関わり、弟子と共に働く態度・能力があったこと
 - 思いやりや人のやさしさに気づく感性を持ち、人のために働くことができたこと
- などになるかと思えます。



子どもを教える上でも、これらのことは形を変えて応用できるのではないのでしょうか。例えば、学習指導や学級経営、組織での働き方そして保護者や地域の方々との関わり等々です。

極めて困難で責任の重い仕事であるにもかかわらず、子どもの未来に関わる職業を選ばれた先生方に敬意を表するとともに、今後、多様な子どもたちの、深い学びを確かなものにするとともに、幸せな人生を歩むための礎を築くことができるよう頑張っしてほしいと思えます。

皆さんのご活躍を期待しております。

鴻巣市立教育支援センター(LET'S)のご案内

■徒歩

北鴻巣駅西口から約15分(県立吹上秋桜高校のすぐ先です)

■コミュニティバス「フラワー号」

北鴻巣駅西口 → 「吹上秋桜高校前」又は「上新田」下車(乗車約4分)

鴻巣駅西口 → " (乗車約18分)

吹上駅南口 → 「龍昌寺」下車(乗車約4分)

■こうのす乗合タクシー

事前の登録と予約が必要です。

■自家用車

センター敷地内の駐車場をご利用ください。



(1階 保健センター健診会場)

2階 玄関、事務所、Let's教室
相談室1・2・3

3階 会議室、まなびの教室
相談室4

4階 調理室、音楽室
相談室5・6

4月の相談状況 259件

相談内訳	R8. 4月	R8. 3月
電話	96	132
相談者来所	85	100
相談員等の学校等への訪問	78	157

主な相談者別内訳

小・中教職員	81	99
小学生保護者	69	66
中学生保護者	35	48
小学生	22	76
年長児保護者	16	13

主な相談内容

不登校	77	131
特別支援	77	91
性格・行動	37	72
5歳児健診	26	27

5・6月の行事予定

月	日	曜	行事
5	11	月	幼稚園・保育所(園)巡回就学相談開始 臨任・任期付教員の教室訪問開始
	15	金	Let's教室 ALT授業
	19	火	Let's教室 ハイキング(防災学習センター)
	27	水	就学支援委員会① 15:30~
	28	木	まなびの教室 14:00~
6	12	金	Let's教室 ALT授業
	16	火	Let's教室 カローリング体験
	25	木	まなびの教室 14:00~

※予定は、都合により変更する場合があります。



相談対応や訪問、研修会等、今年度のセンター業務が本格的に始まりました。ご理解とご協力、誠にありがとうございます。

Let's教室 1学期始まりの会 4/15(水)



学校の始業式から1週間遅れのスタートです。通級児童生徒と指導員が、お互いに自己紹介しました。

特別支援学級担任等のための研修会 4/22(水)



子どもや保護者との関わり方、教材づくりの実際等、今後の参考となる豊富な実践を紹介していただきました。

第1回「まなびの教室」 4/23(木)

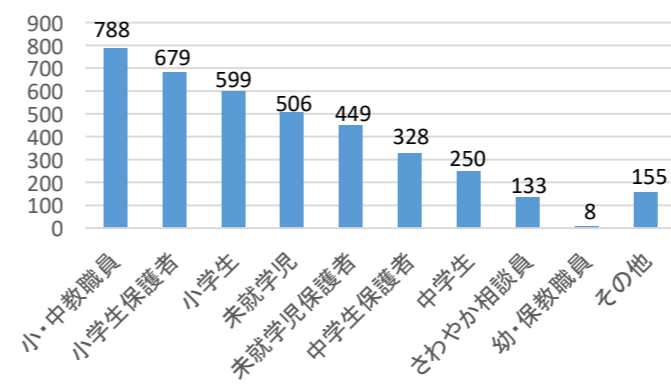


上手にバランスを取ってロープ渡りができました。毎月、年長児が楽しみながら学習や運動に取り組みます。

シリーズ

0歳~15歳までの一貫した教育の推進
令和7年度の相談は、総数3,895件

令和7年度の相談者別件数 (件)



相談件数は、前年度を400件以上上回りました。相談内容は、引き続き「不登校」「性格・行動」「特別支援」「就学」が多くを占めていますが、この他、お子様の家庭や学校での生活、子育てに関すること等、様々な心配事をお伺いしています。まずは、電話で相談の予約をお願いします。

令和7年度の相談内容 (%)

